

事務事業チェックシート

評価年度	H24	H25	H26	対象外
	○			

事務事業No 132 事業名 中間処理事業(エネキ-センター) (焼却処理・破砕処理等)

[事業基本情報]

分野別目標	4	自然環境と都市基盤が調和した快適なまち
政策	4	自然環境・資源循環型社会の形成
施策	4	循環型社会の形成
取組	2	一般廃棄物の適正処理

事業区分(1)	事業経費	○	管理経費
	その他		
事業区分(2)	自治事務	○	法定受託事務
	その他		
会計・予算区分	会計		一般会計
	款		衛生費
	項		清掃費
	目		清掃工場費
	大事業		清掃工場事業
事項		中間処理事業(エネキ-センター)	

事業種別		主な事務事業	
事業期間	S 6 1	～	永続
関連個別計画			
担当課・担当課長 (Tel)	青岸清掃センター	大谷昌之	(428-4153)
関連課			

「3つの磨き」との関連性

「市民力を磨く」		「基盤力を磨く」		「観光力を磨く」		該当せず	○
コミュニティーの充実		メリハリある都市づくりの充実		史跡和歌山城の充実			
市民の健康環境の充実		道路・公共交通網の充実		海を生かした観光シフトの充実			
総合的な子育て環境の充実		総合防災体制の充実		美味しい和歌山市イメージの充実			
その他		その他		その他			

1 事業概要及び実施内容

事業概要	事業目的（「誰・何」をどういう状態にする」ための事業か）	事業内容				
	一般廃棄物の焼却と再資源化を図り、適正に処理を行う。	この中間処理事業（主に焼却処理）は、和歌山市から出る一般廃棄物などを受入・計量を行った後大型ごみについては破砕処理後焼却後又焼却時に出る余熱を利用し発電を行いエネルギーの回収（熱回収）を行っています。発電は所内（同一敷地内に有るし尿処理施設の青岸工場を含む）で使用後、余剰分があれば、電力会社に送電しています。一般廃棄物の適正な処理は地方自治体の自治事務で有り市民生活に直接影響の多い業務であります。				
実施内容		平成21年度	平成22年度	平成23年度	平成24年度	平成25年度
		ごみ受入れ及び計量 ごみ受入れに伴う手数料の徴収 粗大ごみ等の切断 施設修繕等維持管理 余熱利用による発電 更新工事	ごみ受入れ及び計量 ごみ受入れに伴う手数料の徴収 粗大ごみ等の切断 施設修繕等維持管理 余熱利用による発電 更新工事	ごみ受入れ及び計量 ごみ受入れに伴う手数料の徴収 粗大ごみ等の切断 施設修繕等維持管理 余熱利用による発電	ごみ受入れ及び計量 ごみ受入れに伴う手数料の徴収 粗大ごみ等の切断 施設修繕等維持管理 余熱利用による発電	ごみ受入れ及び計量 ごみ受入れに伴う手数料の徴収 粗大ごみ等の切断 施設修繕等維持管理 余熱利用による発電

2 事業コスト

事業費 千円		平成21年度		平成22年度		平成23年度		平成24年度		平成25年度	
		予算	決算	予算	決算	予算	決算	計画	決算	計画	決算
	事業費	895,623	859,885	950,055	991,057	511,925	518,718	496,198		496,198	
	伸び率 (%)	-	-	6.1%		-46.1%		-3.1%		0.0%	
	人件費	常勤職員	502,488	302,490	561,696	313,674	309,231	311,223	311,223		
		非常勤職員	32,780	19,617	35,555	47,527	59,675	67,519	67,519		
	小計	535,268	322,107	597,251	361,201	368,906	378,742	378,742			
	国庫支出金			11,900	7,234	2,450	1,694	7,191		7,191	
	県支出金										
	市債	322,770	323,800	344,600	344,300			11,000			
	その他	270,877	261,733	237,859	265,520	262,926	331,220	278,067		278,067	
	一般財源(税等)	301,976	274,352	355,696	374,003	230,822	139,793	230,822		230,822	
所要人数	常勤職員	41	39.47	41	41.54	37	41.21	41.21			
	非常勤職員	13	11.83	14	14.01	23	18.85	18.85			

3 目標及び実績

活動指標	指標名及び達成状況				平成21年度	平成22年度	平成23年度	平成24年度	平成25年度	
					年度目標値					
					実績値					
	単位	全体目標値		全体目標達成度	年度別達成度					
					年度目標値					
					実績値					
成果指標	焼却処理量				年度目標値	90000	78000	75000	75000	75000
					実績値	74225	69271.47	7241		
	単位	トン	全体目標値	78000	全体目標達成度	年度別達成度	82.5%	88.8%	96.6%	
	売電量				年度目標値	4161000	2949000	3430000	3430000	3430000
					実績値	3339890	3104376	4843741		
	単位	Kwh	全体目標値	2949000	全体目標達成度	年度別達成度	80.3%	105.3%	141.2%	

4 事業の評価

評価基準					
[妥当性]事業のニーズはあるか		増加している	○	横ばい	減少している
[妥当性]事業手段は妥当か	○	現行の手段でよい		一部見直しが必要	見直しが必要
[妥当性]官民の役割は妥当か	○	市が行うべき		他の主体との協働も可能	市が行う必要性は薄れている
[妥当性]緊急的に取り組む必要があるか		急いで取り組む	○	中長期的に取り組む	緊急性は薄い
[有効性]更に効果が期待できるか		できる	○	あまりできない	できない
[有効性]成果目標はどの程度達成しているか		達成している(90%以上)	○	おおむね達成(70~90%未満)	達成していない(70%未満)
[効率性]事業費を抑制できるか		できない	○	制約はあるが可能性はある	できる
[効率性]受益者負担の見直し		適正	○	負担は求められない	見直しが必要

5 事業の方向性

方向性	A 計画どおり事業を進めることが妥当	B 1 事業の充実に向けた見直し	担当課評価 (所属長記載) A
	B 見直しのうえで継続	B 2 コスト削減・成果上昇	
	C 終了	B 3 類似事業との統合	
	D 休止	B 4 外部委託導入・拡大	
	E 廃止	B 5 受益者負担の適正化	
		B 6 終期設定	
		B 7 その他効率化	

担当課評価の根拠	一般廃棄物の適正な処理は地方自治体の自治事務であるため、計画どおり進める必要がある。
「見直し」 「改善」案 ※上記、担当課評価が「B」評価の場合のみ	